

てんびんカイロニュースレター

2015年4月号



4月になりました。春ですね。

進学や就職など、新しくスタートされる方が多いと思います。

私の息子も高校に入学しました。

私も心機一転頑張ります。

☆☆

今月号は、アクティベータ器についてです。



アクティベータⅡ

アクティベータは、アメリカ人のアラン・ファー (Arlan Fuhr) というカイロプラクターによって 1970 年代に考案されました。

最初のモデルは、手の代わりに調整できるようにと考案されました。

そして、カイロプラクティックの器具として、FDA (米国食品医薬品局) に登録されました。



アクティベータⅣ

その後、調整には振動が大事であることがわかり、神経が反応しやすい振動が出るようにと研究され、進化してきました。

神経が反応しやすい周波数は、30~50 ヘルツだということがわかってきました。

アクティベータのそれぞれのモデルは、その周波数がより出るように研究開発されてきました。

	30~50 ヘルツの振動が出る割合
アクティベータⅡ	48%
アクティベータⅣ	74%
アクティベータⅤ	94%



アクティベータⅤ

手で調整するよりも再現性があり、効果が高いのはそのためです。

てんびんカイロプラクティックでは、アクティベータⅤを使用しています。

九州で取り入れているところはまだ4件だけです。

